

概 要

旧大隈重信別邸・旧古河別邸 1棟 附 敷地 2筆

所在地 中郡大磯町東小磯 285 番地

所有者 国土交通省 関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所長

建築年代 明治 30 年（1897）以前

特徴等 「旧大隈重信別邸・旧古河別邸」は、明治 30 年に大隈重信が別荘として購入し、明治 34 年に

古河家に継承されました。外観等に改造が施されたものの、大広間、北座敷、神代の間の 3 棟を中心に大隈別邸当時の建築が現存しています。構造及び内部は当初の趣をよく伝え、雁行型の配置や銘木を使いながらも落ち着いたしつらえに、海浜別荘らしい特徴がみられます。創建は明治 30 年よりさらに遡る可能性があり、海浜別荘地・大磯の草創期の別荘建築として貴重な建物と評価できます。



旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡）1棟 附 敷地 2筆

所在地 中郡大磯町東小磯 285 番地

所有者 国土交通省 関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所長

建築年代 昭和 5 年（1930）

特徴等 「旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡）」は、外務大臣を務めた陸奥宗光の別邸を譲り受けた古河家が、

関東大震災後による倒壊後、その跡地に昭和 5 年に上棟した建物です。葛西田中建築事務所の設計による瀟洒な数寄屋風の住宅建築であり、海浜別荘らしい平面・設備を特徴とし、造作の質も極めて高いです。昭和初期、屈指の近代和風建築であり、敷地・庭園も合わせて昭和初期の姿をよく留める貴重な別荘遺構と評価できます。



※大磯町指定文化財は、これまで、鳴立庵、旧島崎藤村住宅、滄浪閣など合計 29 件が指定されていますが、今回の指定で 31 件となりました。